

人形劇の名舞台を振り返る

Play Back the Stage



1984

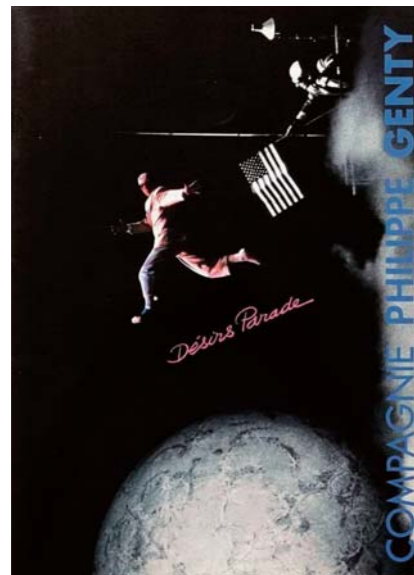
人形劇団むすび座「ガリヴァー」
原作：スウィフト 脚本：多田徹
演出：関矢幸雄 美術：杉田圭司
音楽：熊谷賢一
初演 1982年 再演 1984年

パンフレット内容は
こちらから



1988

フィリップ・ジャンティ・カンパニー
「いのちのパレード」(Désirs Parade)
作・演出：PHILIPPE GENTY
日本初演 1988年



2002

人形劇団京芸「ちいさくなったパパ」
原作：ウルフ・スタルク 脚色・演出：北村直樹(人形芝居ひつじのカンパニー)
美術：吉田貴志 音楽：ノヤママナコ(マナコ・プロジェクト)
初演 2002年

私が18歳で人形劇に関わり始めて40年以上が経ちました。その間、多くの人形劇やパフォーマンスを観てきましたが、中でも特に感動したり楽しませてもらった選りすぐりの作品を3つ紹介します。

私が大学サークルで人形劇を始めて間もない頃に観たのが、人形劇団むすび座の『ガリヴァー』。むすび座の関矢幸雄氏・演出作品と言えば『悟空誕生』『西遊記』が知られていますが、私が最初に観たのはこちら。当時、劇団代表であった丹下進さん自らがガリヴァー役でした。子ども向けと思っていた人形劇で、このような世界があるのだと強い感銘を受けたのを覚えています。

大学を卒業した1988年には名古屋で世界人形劇フェスティバルが開催。その世界フェスの目玉であったのが、フランスを拠点とするPHILIPPE GENTY COMPANY(フィリップ・ジャンティ・カンパニー)の初来日公演。人形劇、ダンス、マジック、パントマイムなどの要素が盛り込まれた舞台には衝撃を受けました。その後も日本で何度か公演されていますので、来日した時には是非ご覧ください。

最後に紹介するのは人形劇団京芸の『ちいさくなったパパ』。各地のフェスで京芸のお芝居を観る機会が多くあり、どの作品も大いに楽しませてくれました。そんな京芸の人形劇の中でも、この作品は役者の遊び心がいっぱい、テンポ良く進むところがイチオシ。何度もリピート観劇させてもらいました。本作に出演と共に美術を担当された吉田貴志さんは、その後、出身地の石川県で「ヨシダ人形劇」を立上げ、個性的なキャラで楽しい一人芝居をされています。機会がありましたらそちらもぜひ。

愛知人形劇センター理事 伊藤進(人形劇団わたぐも)

愛知人形劇センター通常総会のご報告



去る5月13日に、特定非営利活動法人愛知人形劇センター通常総会が開催されました。定款第5章に則り、高橋理事長の開会宣言の後、伊藤議長を選出、2023年度の事業報告・決算報告、2024年度の事業計画・予算と順調に議事が進行し、各議案が満場一致にて採択されました。今年度は役員(理事及び幹事)改選年ということもあり、2024年から2025年の役員が選出されました。新しい役員2名が加わり、心機一転、今後の運営を進めていきたいと思っています。

新しい役員は以下の通りです。よろしくお願いいたします。

◆役員一覧

理事長：高橋一元

副理事長：伊藤進、Chang

事務局長：中康彦

理事：石田律子(新任)、酒井利幸(新任)、佐和ぐりこ、寺島久美子、西村達也、藤中智光、古家暖華、山内庸平、ゆみだてさとこ



新理事 自己紹介

石田律子(ブーク人形劇場)

初めまして、今年から新理事になりました石田律子です。私は東京・人形劇団ブークに在籍しています。度々公演などで携わったセンターに、理事として携われることにとっても嬉しく思います。愛知在中ではないですが、東京から愛知の人形劇…愛知に限らず、人形劇界全てに対して…のお手伝いができれば幸いです。よろしくお願いいたします。

酒井利幸(手風琴)

会社を定年退職したことを機に、理事に就任させて頂きました。人形劇との関わりは、学生時代の人形劇サークルに始まり、卒業後は社会人の人形劇団手風琴でのグループ活動を経て、現在は一人で劇団活動をしています。パネルシアターの創作・上演が好きで、パネルシアター愛好家の集まり「パネットなごや」での活動もしています。パネルシアターの魅力を皆さまに伝えて行けたらと思います。

特定非営利活動法人
愛知人形劇センター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
https://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌
あぶ

愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌
発行：特定非営利活動法人 愛知人形劇センター
発行人：高橋一元
編集人：中康彦
デザイン：江利山浩二(KINGS ROAD)
編集：小島祐未子(常磐の編集舎)

愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。

Aichi
Puppetry
Center

あぶ

ひまわりホールから
発信する
シアター情報誌

2024 AUTUMN
VOL. 326
https://aichi-puppet.net/

アジアから、ヨーロッパから 優れた人形劇家たちが登場!

台湾布袋戲 亦宛然掌中劇団「好遇姻緣」(写真上)
Stuffed Puppet Theatre(オランダ)「ユビュ王」(写真下)